

平成 2 7 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

徳島県警察本部

目 次

I	平成27年度警察本部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	3
III	歳入歳出決算額	4
1	一般会計決算額	4
	(1) 歳入決算額	4
	(2) 歳出決算額	4

I 平成27年度警察本部主要施策の成果の概要

第1 身近な犯罪の徹底抑止

平成15年から平成24年までは街頭犯罪及び侵入犯罪の発生を抑止するための総合対策を、平成25年からは地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策をそれぞれ推進した結果、平成27年中の刑法犯認知件数は4,543件と12年連続で減少した。

ストーカー・DV等の人身安全関連事案に対しては、被害者等の安全の確保を最優先とした上で、警告や逮捕に向けた迅速かつ的確な対応に努めた。また、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺に対しては、高齢者を対象とした分かりやすい情報発信、金融機関及び宅配事業者と連携した送金の阻止、他府県警察との合同取締り等を強化した。さらに、非行少年に対する立ち直り支援活動、犯罪被害者支援等の諸施策を推進し、県民の安全安心の確保に努めた。

第2 重要犯罪等の徹底検挙

平成27年中、美馬市の銀行における持凶器強盗未遂事件、東みよし町における現住建造物等放火・殺人・殺人未遂事件などの重要犯罪を45件認知したが、徹底した捜査により37件、34人を検挙した。

知能犯事犯では、破産法違反事件などを検挙したほか、暴力団対策では、県内に本拠を置く暴力団の壊滅に向け、構成員を組織的な野球賭博事件で集中的に検挙するとともに、事業者、自治体等による暴力団排除活動を積極的に支援した。

第3 交通死亡事故の徹底防止

県警察では、交通死亡事故の抑止を最重要課題と捉え、平成27年を最終年とする第9次徳島県交通安全計画に示された「死者数を30人台後半、可能な限りゼロに近づける。」との目標を達成すべく、関係機関・団体等との連携を一層強化し、高齢者の心に届く情報発信や交通安全教育、交通安全施設の整備、効果的な運転者講習等を実施した。また、飲酒運転等重大事故に直結する悪質かつ危険性の高い違反に重点を置いた指導取締りを強化した。

その結果、平成27年中の交通事故死者数は27人で、道路交通法が施行された昭和35年以降、年間死者が最も少なかった一昨年（年間死者31人）より更に減少し、全国最少を記録したほか、人身事故発生件数は3,866件と、平成17年以降11年連続で減少した。

第4 大規模災害等への徹底対処

発生が危惧されている南海トラフ地震に対しては、迅速かつ的確な初動対応がとれるよう、最新の被害想定を勘案し、初期対応マニュアルを見直すとともに、初動対応訓練、装備資機材の習熟訓練等を繰り返し行い、救出・救助などの対処能力の向上と自治体、防災関係機関等との連携強化を図った。また、自然災害だけでなく、テロ等の事態を想定した訓練を重ねるとともに、消防、自衛隊、海上保安庁等の関係機関との連携を密にし、緊急事態への対処能力の向上に努めた。

第5 組織基盤の徹底強化

県警察では、「精強な第一線警察構築のための総合プラン」に基づき、実戦的訓練、ベテラン職員による伝承教養等、若手職員の早期戦力化に向けた諸施策を推進した。また、変化する治安情勢に的確に対応するため、今後の組織の在り方や、これに密接に関連する警察施設の整備等を盛り込んだ組織体制の見直し等の「大綱方針」を策定した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
新防災センター(徳島東署)施設整備PFI導入可能性調査事業	治安・防災の新中核拠点となる徳島東警察署を核とした新防災センターを整備するため、財政負担の軽減や民間資金・活力の導入に向けた整備手法を検討した。 (9, 979)
交通対策強化事業	道路情報の収集能力の向上を図るため、国土交通省が国道等に設置している交通監視カメラの映像を交通管制センターで受信し、きめ細やかな交通管制を行う交通対策の強化事業を実施した。 (1, 971)
警察施設長寿命化推進事業	「徳島県公共施設等総合管理計画」に盛り込まれた、警察施設の長寿命化などを内容とする「個別施設計画」の策定に向け、施設の現況調査や保全台帳の整備を進めた。 (8, 932)
警察施設防災機能強化事業	南海トラフ巨大地震等に備えるため、防災拠点となる警察本部庁舎、鳴門警察署及び牟岐警察署の電源確保対策や浸水対策を行うなど、防災機能強化を推進した。 (562, 560)
警察署庁舎耐震改修整備事業	防災拠点となる警察署庁舎の耐震改修整備事業として、石井警察署耐震改修工事を完了したほか、美馬警察署耐震改修工事を着工した。 (260, 973)
交番・駐在所等整備事業	徳島西警察署蔵本町交番と那賀警察署那賀町平谷駐在所の建て替え工事を実施し、地域の安全センターとしての基盤整備を促進した。 (82, 899)
交通安全施設整備事業	安全で快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の計画的な更新と、道路の新設・改良等に伴う交通信号機、道路標識等の整備を行い、交通の安全と円滑を図った (545, 605)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	2,233,896,000	1,928,074,491	1,926,333,491	285,000	1,456,000	△307,562,509

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	21,833,649,000	21,398,688,147	1,437,000	433,523,853	434,960,853